

R2主事招聘研究授業【理科】リフレクションシート

令和2年度 竹富町立船浦中学校

互見授業リフレクションシート				令和2年度
日付	6月15日	回答者数	6	竹富町立船浦中学校
教科（学年）	理科（2年）	【本時のめあて】 酸化銅から酸素をとることができるか確かめよう。		
授業者 氏名				

小中連携共通実践事項 ◎…よくできている ○…できている △…あまりできていない				
	評価	備考		
	◎	○	△	肯定的回答
1 学習用具を忘れずに準備することができる。	83%	17%	0%	100%
2 授業が始まる時刻には、席に着くことができる。	100%	0%	0%	100%
3 授業のあいさつで3秒礼ができる。	83%	17%	0%	100%

授業マネジメント（船中スタンダード） ◎…よくできている ○…できている △…あまりできていない				
項目	評価			備考
	◎	○	△	肯定的回答
4 学びに向かう力・人間性 深い学びへ	83%	17%	0%	100%
6 知識・技能 深い学びへ	67%	33%	0%	100%
6 知識・技能 深い学びへ	33%	67%	0%	100%
7 学びに向かう力・人間性 主体的	50%	50%	0%	100%
8 思考力・判断力・表現力 主体的	50%	50%	0%	100%
9 思考力・判断力・表現力 対話的	17%	83%	0%	100%
10 思考力・判断力・表現力 対話的	0%	100%	0%	100%

○よかったところ
・導入での問いかけで、今回の授業で何をするか、ねらいについてうまく整理しながら伝えていた。発問の工夫も見られた。・実験の説明がポイントコンパクトに押さえており、説明しながら板書もキーワードを色を変えるなど、工夫が見られた。生徒に考えさせらせるところと、教師による要点箇所の押さえにメリハリがあった。
・まとめにおいて机間指導をしっかり行い、生徒の理解の状況の把握に努めていた。・板書が論理的であった。めあて→実験→注意→結果→考察・実験結果から化学反応式を導く授業は、とても分かりやすかった。
・しっかりと生徒の意見を引き出して考察や結果をつつていたので、自分で考えてできていたと思います。
・実験前の注意確認&実験後の結果・考察、まとめ→今まで習ったこととのつながりを意識できる。
・グループで協力し合って実験ができていた。実験からしっかりと結果・考察がまとめられていた。
・グループのメンバーで協力して準備、実験を行っていた。生徒の言葉を拾って結果を書いていた。表現する言葉の使い方を意識していた。

●改善点
・今回の授業では、教師の問いかけで生徒が考えたといった形で応答していたが、全て生徒が最後まで考えて答えを出すといった一連の流れの中で、考えを導き出せるよう時間を与えることも有効だと思う。考察においても、生徒の言葉を拾ってまとめたが、個人でまず書かせ、何人か発表する、あるいは板書させたものから練り上げるのもいいと思う。
・実験のシミュレーション（道具の位置）などを確認してみてもどうだろうか。・全員が一回は発言するようなルールがあってもいいのでは？・めあてを「酸素をとる」ではなくて「銅を取り出せる」というようにすると、まとめて銅に注目できるかなと思います。
・まとめまで板書してもいいのでは？・実験のときの班編制の工夫をしてみてもどうか。スムーズな班と時間がかかっている班があったため。

その他
・「目の前で起こった事実（実験）から確かめる」ことは、特に理科において大事な事項である。「なぜだろう」という問いが絶えず生まれるような授業を目指し、がんばってください。
・酸化銅から酸素を取り除くことが、社会の何に役立つのか、職業と結びつけた説明もあっていいのかなと思います。収入も。
・環境問題にも少し触れてはどうか。

【授業者の振り返り】
・小単元の3時間中の2時間目で、前時には実験準備を済ませているところからのスタートだった。本時の導入で注意確認をしてから展開（実験）に入ったが、せっかくなので仮説まで整理させた方が、考察場面でより学習が深まったように思う。一方、準備を自分たちで行っていたことで、実験の見通しが立ち、化学変化や実験で生じた変化（試験管内の水滴）など、細かな変化まで気づくことができていた。「生徒－教師」だけでなく、「生徒－生徒」で学習を深めていける場面設定ができるとよい。

主事招聘研究授業リフレクションシート				令和2年度
日付	10月7日	回答者数	9	竹富町立船浦中学校
教科（学年）	理科（2年）	【本時のめあて】 雲の底面が地表から同じ高さにそろうのはなぜか説明しよう。		
授業者 氏名	国吉 真輝			

小中連携共通実践事項 ◎…よくできている ○…できている △…あまりできていない				
	評価	備考		
	◎	○	△	肯定的回答
1 学習用具を忘れずに準備することができる。	78%	22%	0%	100%
	100%	0%	0%	100%
	67%	33%	0%	100%

授業マネジメント（船中スタンダード） ◎…よくできている ○…できている △…あまりできていない				
項目	評価			備考
	◎	○	△	肯定的回答
4 学びに向かう力・人間性 深い学びへ	100%	0%	0%	100%
6 知識・技能 深い学びへ	56%	44%	0%	100%
6 知識・技能 深い学びへ	67%	33%	0%	100%
7 学びに向かう力・人間性 主体的	100%	0%	0%	100%
8 思考力・判断力・表現力 主体的	100%	0%	0%	100%
9 思考力・判断力・表現力 対話的	89%	11%	0%	100%
10 思考力・判断力・表現力 対話的	67%	33%	0%	100%

○よかったところ
・導入で身近な映像を用いて生徒の興味関心を高めていた。・ルーブリック評価を取り入れた自己評価について、生徒と一緒に作り上げていた。・エキスパート活動、ジグソー活動、クロストークともしっかり自分の考えを伝えていた。・今日の授業の活動内容、流れの確認を生徒と一緒にタイムマネジメントまで決めていた。見通しを持って1時間集中できる。・教師の指示がシンプルで、生徒主体の授業づくりになっていた。・生徒の主体的な学びがずっと見られた。伝えたい！という思いが伝わってきた。→深い学びにつながっていると感じた。素晴らしいです。・授業の始めて見通しを示したところが良かった。生徒同士で意見を交換し合う場面で、「あっそうか！」と気づくところが多く見られたのが良かった。・生徒の発言をまず認めていたところが良かった。・ルーブリック（知識・対話・考え方）でどこまでできればいいか確認していた。・Hさんは、違う資料をジグソー活動（クロストークでも）で交流していて、考え方が違うのをお互いに聞き合って、考えを深められた。・生徒が主体的に活動する場面がとてたくさんあり、意見を交流することでさらに深い学びが生まれたと思います。・ルーブリックで評価を自分で考えるのもとても良かったです。・発表から更なる深まりにつながる疑問が生まれていた。・復習がコンパクトで、雲の写真なども使っていて良かった。各グループ（エキスパート）では、絵などしっかりと話し合っていて良かった。各グループでしっかりとめを考えていて良かった。グループの意見を聞き、自分でまとめ、振り返りができていて良かった。

●改善点
・発表（クロストーク）したことと班ごとの違いが分かるようにホワイトボードに書くなど、視覚的に残すより分かりやすかったと思う。・まとめ、振り返りで全体的に確認すると生徒は安心したと思う。（自分の考えがあっているのか不安では。）・まとめ、振り返り、自己評価を発表させても良かったと思う。・まとめの部分、誰もが他の人に説明できるくらい、理解できるための工夫があるともっとgood！（手立てや思考の可視化）・発表はホワイトボードで可視化。最後は教師の言葉でまとめたら生徒は安心するかな。・話し合いにあまり参加していない子もいたので、理解してまとめてきているか気になりました。・ホワイトボードなどを利用することで、視覚的に考えを共有できると思います。まとめは、教師で補足しながらまとめていくのもいいと思いました。・まとめの板書、自己評価の記入まで授業内でやりたい。・まとめが可視化しても良かったのでは。

その他
・全員が学びに向かって大変良かった。素晴らしい。・言葉の意味を正しく捉えること→国語科でもがんばります。・課題を受けて授業を組み立てる。流石です。準備大変でしたお疲れ様でした。・お疲れ様でした。勉強になりました。・「長く」と良いながら、グループで表現を確認しながらまとめを書いていました。Sさん、1時間、対話しながら一生懸命授業に参加していました。・授業規律がしっかりしていた。

【授業者の振り返り】
・今回の本時に至る前までに、授業の進行具合から「天気とその変化」の「気象観測と雲のできる方」の単元を設定したが、全国学テなど各種調査における成果と課題及び分析をしてみると、研究授業としての単元設定の理由が明確になり、校内研究としての充実を実感することができた。せっかくなので、全校体制として課題を共有して仮説を研究授業で検証し、授業改善を図るというPDCAサイクルが有効に稼働しているという実感をいろいろな先生方と共有したい。本時の中で、まとめに関わる手立ては、ぜひ改善したい。